

# 3.11 を忘れさせないために

(構成・演出・音楽) TATEO TERAMOTO

●2011年3月11日以降20回ほど宮城の被災地に通いました。被災された方々とMUSICALを作るためです。被災の様子を聞いて歩きました。その中のいくつかです。

●いつも並んで何をするにも何時間も並んだということ。避難所に一週間後に設置された電話も一人一回一分間なので、何回も何回も並び直して訃報を知らせなくてはならなかったこと。

●並んで義捐金や支援物資を係の方から渡されるとき、その先にそれを下さった日本中、世界中の匿名の方々に直接ありがとうの感謝が伝えられなかったもどかしさを誰もが感じていたということ。

●学者の方々がここなら安全だという避難所で沢山亡くなったということ。それを「想定外」で片づけられたこと。

●被災地にはためく「がんばろう」のスローガンではあんまりがんばれないということ。俺たちは「悔しいんだ」ということ。

●外国のメディアでは日本人はみんな助け合ったと報道されているけれど人間の嫌なところを山ほど見てしまったということ。でも人間は本当は素敵生き物のはずと自分に言い聞かせて生きることにはしないとこれから生きていけないということ。

●本当はすべて夢であってほしかったということ。夢じゃないのならすべて忘れてしまいたいということ。でも絶対忘れてはいけないことがあるんだということ。



寺本建雄 (LALALA Office LLC)

北海道生まれ。この道に入る前は東京都の役人だった。今までに作曲したミュージカルナンバーは800曲を超える。音の出るものは何でも楽器にし、演奏する。第19回菊田一夫演劇賞を受賞(音楽家では初めて)。ひとめで彼だとわかるイラストもスゴイ。東京都消防庁消防総監より感謝状ももらった。

## \*...\*...\*...\*...\*...\* 舞台を観ていただいた方々からのことば \*...\*...\*...\*...\*...\*

涙が止まらなかった。小さい子供もガンバっている。仕事の悩みなどバカらしく思えました。(Y・I)

もっともっと沢山の人々に、日本中・世界中の人に観てもらいたい。二度とこんな作品を観ることはもう出来ないでしょう。超大感動をありがとう。(I・T)

ひんしゆくを買うかも知れませんが、舞台のみなさまが美しく輝いてうらやましかった。最も苦しんだ人が最も幸せになれる権利があるんだと思いました。(R・K)

出演者のみなさん「生きてくれてありがとう。」(M・N)

感動いっぱいミュージカルだった。舞台からくり返される「ありがとう」の声に応じて最後には観客からも拍手とともに「ありがとう」の声が沸き起こった。ほくもそれに加わっていた。(小田島雄志)

戦争に負けて19年で新幹線を走らせオリンピックを成功させた頃、国も本気だった。いま国は本気出しているのか。きょうのみなさまの本気、国の人たちに観てもらいたかった。感動しました。(T・T)

想像を絶する苛酷な体験、辛さ、悲しみ、くやしさを、後悔...みなさまの姿がこんなに気高いなんて...。(H・Y)

## STAFF

- ・構成台本・演出・音楽/寺本建雄
- ・撮影ディレクター・プロデューサー/川松文男
- ・音響/祖父江 晃
- ・照明/坂本幸一
- ・舞台監督/原 有人
- ・振付・ステージング/室町あかね
- ・振付助手/かす ゆうと
- ・衣装/たかひら みく

- ・撮影技術/川添正春 川松文男
- ・編集/川添正春 山川義幸
- ・技術協力/手塚正信 武井文均 Visual Education Japan
- ・総合プロデューサー/祖父江 真奈
- ・制作/LALALA Office LLC
- ・協力/支援する東京の会
- ・ギター製作/ヤイリギター

